



奥大井湖上駅
 静岡県榛原郡川根本町
 大井川鐵道「千頭」駅から井川線に乗車。9番目の「奥大井湖上」下車。約65分。
 新東名高速道路・島田金谷ICより車で約80分。

[お問い合わせ先]
 大井川鐵道株式会社
 0547-45-4112
<http://www.oigawa-railway.co.jp/>



contents

01 [世界クラスの美しい“ふじのくに”]
 奥大井湖上駅

03 [知事対談]
ラグビー交流を遺産に
 駐日アイルランド大使
 ポール・カバナ氏

07 [世界の人々との交流の拡大]
 平和の茶がつなぐ韓国との絆
 ～朝鮮通信使記念茶会～

11 [県政特集]
 CNFで世界の未来を切り拓く!
 ふじのくにCNFプロジェクト

13 [ふじのくにブランド]
 太陽チキン

14 [Living My Dream Life in ふじのくに]
 松下あゆみさん

世界が認めた秘境駅で
 ドラマチックな感動に浸る。



県道388号線から見た奥大井湖上駅と奥大井レインボーブリッジ。紅葉の見頃は11月中旬から下旬にかけて。

世界クラスの美しい“ふじのくに”

湖上にせり出した半島部分に駅を構える「奥大井湖上駅」は、深紅の鉄橋・奥大井レインボーブリッジとともに見る者を圧倒する。その迫力と美しさは、生涯の記憶に残る、世界クラスの絶景だ。

大井川鐵道井川線にあるこの駅は、長島ダム(川根本町)の建設に伴って水没した駅の代わりに、1990年に新設された。駅を挟んで東西に分かれる鉄橋は、全長474mの規模を誇り、よく虹がかかることもあって、レインボーブリッジと呼ばれる。

ホームに降り立つと、溪谷と湖が織り成す大パノラマが広がり、「秘境まで来た」という感慨に包まれる。対岸の水際には旧線路の跡も見え、郷愁を誘う。

東の鉄橋脇には歩道がある。河床からの高さが70mもあるため、気分は空中散歩だ。鉄橋を渡り切り、散策路を20分ほど登って県道388号線へ。そこから眼下に眺める湖上駅の全景も必見だ。

大井川鐵道(株)の広報担当・徳丸茜さんに話を聞いた。最近では外国人観光客も増えています。夏は湖面がエメラルドグリーンに映え、晩秋は周囲の山々が紅葉に染まります。時間に余裕があれば一旦下車し、周囲を散策するルートがおすすめです。

1つ手前の駅「ひらんだ」を出たトロッコ列車は、自転車並の速度で山間をコトコトと進んで行く。やがて軌道が左へ大きく曲がると視界が突然開け、湖上にせり出した駅が見えてくる。その瞬間、車内に乗客の歓声が湧き起こる。こうしたドラマチックな感動こそ井川線の旅の醍醐味だ。

奥大井湖上駅は、湖面に浮かぶような幻想的な光景が世界各国の審査員から評価され、「COOL JAPAN AWARD 2019」に認定された。



大井川鐵道(株)の広報担当・徳丸茜さん。「若い人にも知ってほしい」とSNSでも沿線の魅力を発信中。



ホームの裏手には休憩所。ここからハイキングコースをたどって接岫峽温泉へ行くことも。(所要時間60分)



非常にまれなことではあるが、2月には雪に覆われることも。



軌道の左側にある歩道を歩き鉄橋を渡り切ると、橋を正面から捉えるビュースポット(散策路へ続く階段)がある。

★COOL JAPAN AWARD
 2019受賞
奥大井湖上駅
 (川根本町)